

学びの架け橋

第3号

R7.7.4 発行

発行者

岡谷市教育委員会

今月の話題

岡谷市では、保育園を卒園した子どもたちが、安心して学校生活をスタートできる環境を整えることを目的として、令和4年3月に「おかや絹結プログラム」を制定しました。その内容やまちじゅう学園化構想との関連についてお伝えします。

「おかやのまちじゅう学園化構想」

- (1) 市内小中学校の学校群化
- (2) 訪問型交流とネットワーク型交流のスタイル構築
- (3) おかや絹結プログラムの充実と実践**
- (4) 岡谷版コミュニティ・スクールへの移行
- (5) 市内全域への小中一貫教育の基盤づくり

園小接続期連携の重要性

小学校に入学したばかりの1年生が、集団行動がとれない、授業中に座ってられない、先生の話の聞けないなど、学校生活に馴染めない状況が続くことがあります。全国的に「小1プロブレム」と呼ばれている課題です。これを「その子の育ちの問題」あるいは「家庭の教育の問題」とせず、園小接続期（年長～小学校入学当初）に適切な環境調整や支援をすることによって、子どもたちの入学に向けての不安軽減を図ることが大切です。

岡谷市では、卒園期を迎えた年長園児に対して園で実施する「アプローチカリキュラム」と、入学期の児童に対して小学校で実施する「スタートカリキュラム」を一体化させ、「おかや絹結プログラム」を制定しました。このプログラムの実践が「小1プロブレム」の解消、さらには入学以降の児童の伸びやかな成長につながるものと期待されます。



おかや絹結プログラムによる実践

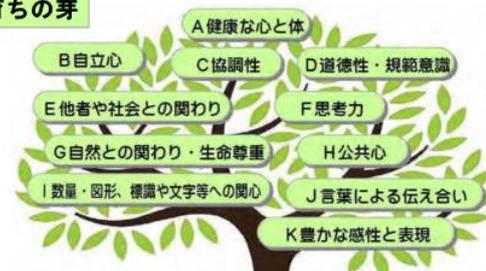
おかや絹結プログラムでは、4つの「育ちの根」と11の「育ちの芽」の観点から、願う子どもの姿を明確にして、各カリキュラムに反映させています。

例えば、スタートカリキュラム「学校たんけんをしよう（生活科）」では、先生や友だちと一緒に小学校の校舎内を巡る活動を通して、次のような子どもの育ちを願っています。

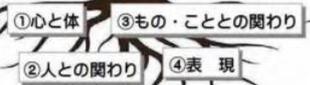
例「学校たんけんをしよう」で願う子どもの姿

- ① **心と体**：いろいろな場所を知り、小学校生活への期待を高めることができる。（**自立心**）
- ② **人との関わり**：先生の説明を聞くことができたり、友だちと協力して行きたい場所に行くことができたりする。（**協調性**）
- ③ **もの・こととの関わり**：学校のいろいろな場所に興味を持つことができる。（**公共心**）
- ④ **表現**：見たことや知ったことを言葉や絵で表現することができる。（**豊かな感性と表現**）

育ちの芽



育ちの根



それぞれの園校で実践されたアプローチカリキュラムやスタートカリキュラムの内容および子どもたちの様子について、各園小の代表職員が委員を務めるおかや絹結プログラム推進委員会で懇談する他、「つなぎシート」によって情報共有をしています。

まちじゅう学園化構想との関連

「おかやのまちじゅう学園化構想」では、川岸学園構想をモデルとして、幼保小中の異年齢の子どもたちをつなぐことにより、新しい学びの創造を目指しています。おかや絹結プログラムはその具体的方策の一つとして位置付けられます。

TOCO-TONの取組として、おかや絹結プログラムの実践を一層充実させていくために、

①園小の先生方の体験交流：園の先生方に小学校体験をしていただいたり、小学校の先生方に保育体験をしていただいたりする。

②情報共有のデジタル化：従来、紙資料により情報共有していた「つなぎシート」をデジタル化することによって、共有の即時化と全体化を図る。

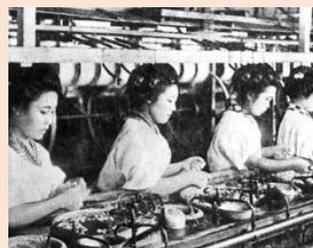
を重点に推進していきます。

「おかや絹結プログラム」命名に寄せた願い

岡谷市は製糸業によって発展をとげた街です。当時の工女たちは、繭から細い糸を一本一本たぐり寄せ、それらを結び合わせて生糸に紡ぎました。その生糸を精練して生まれる絹糸は、丈夫で美しい光沢を放ちます。

幼少期の子どもたちは様々な可能性を秘めていますが、それはまだ微かであり、断片的であり、不安定であることが多いです。その秘められた可能性を大切に紡ぎ、確かに輝く将来に繋げていく営みは、さながら工女たちの紡績の業に似ています。

入学期を迎えた子どもたちに対し、絹糸を結うようにその成長を支援し保障していきたいという願いを込め、園小接続期連携におけるカリキュラムの総称を「おかや絹結プログラム」と名付けました。



お知らせ

TOCO-TONについて学ぶ出前講座を下記のとおり開催します。
多くの皆様(保護者・地域・教職員)のご参加をお待ちしています。

岡谷市教育委員会 出前講座

ウェルビーイング実践校

トコトン
TOCO-TON
ってなあに？

子どもたち一人ひとりが
自分の能力や個性を
最大限に伸ばし



「好き」や「楽しい」
「なぜ」を
とことん追求できる!!



開催日：令和7年7月11日(金)

時間：午後6時30分～8時

会場：イルフプラザ カルチャーセンター
第1多目的ホール

予約不要

主催：とちの(実)の会 共催：将来を見つめる子ども応援隊